

# 新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局  
京 浜 河 川 事 務 所  
新 横 浜 出 張 所 発 行  
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3  
2 0 1 2 年 0 3 月 0 9 日【第24号】

## 鶴見川沿い(港北区・鶴見区)の桜マップを紹介します

港北区樽町や港北区新横浜などでは、桜の咲く時期に多くの方が花見を行っています。今回は、国土交通省で管理している区間（鶴見川河口～第三京浜橋梁）の桜マップを紹介します。

花見をされる方の参考にして頂ければと思います。花見の際には、『ゴミの持ち帰り』に、是非ご協力をお願いします。

花見の後は、後片付けも忘れずに！



- ⑦樽綱橋周辺の川辺
- ⑧太尾公園付近
- ⑨新横浜駅前公園付近

- ⑤矢向1丁目公園の川辺
- ⑥東部病院周辺の川辺

- ①潮鶴橋右岸の橋詰広場
- ②芦穂橋から潮鶴橋左岸の川辺
- ③市場中学校周辺の川辺
- ④佃野公園周辺の川辺

昨年、港北水再生センター前のフェンスを港北土木事務所が移設しました。花見スペースが広がって、桜の木を真下から見あげることもできるようになっています。



港北水再生センター前



樽綱橋上流(樽町側)



# 鶴見川下流の大水害「過去と未来を語ろう」津波が心配？ いや大水害はもっと心配

## 3月4日(日)鶴見川流域センターでシンポジウムが開催されました



3月4日には、流域センターで過去の大水害を経験した地元在住の方をパネリストに迎え、シンポジウムが開催されました。

洪水を体験した地元の飯田助知さん、小山和雄さん、京浜河川事務所副所長の山口、慶応大学教授の岸先生をコーディネーターに迎え、昭和13年、16年、33年などの洪水体験と今後、体験を語り継ぐ重要性の話がありました。

また、冒頭には京浜河川事務所から、ハザードマップと浸水想定区域の説明を行いました。

このような機会を利用して、防災関係機関と協力しながら洪水の恐ろしさや、自助、共助に必要な防災情報の使い方などの説明を、市民のみなさんに向けて行いたいと思います。

## 港北区樽町の自転車駐車場が出来たことで 堤防上の自転車なくなり喜ばれています

港北区樽町に自転車駐車場が出来ました。

港北区には自転車利用者が多く、大綱橋の樽町側の堤防上に多くの自転車が停められていました。横浜市の港北土木事務所では、この少し下流側に堤防から下りる通路と道路拡幅、自転車駐車場の工事を行っていましたが、昨年末に完成して、今年1月から駐輪できるようになっています。

この施設は、自転車130台程度を置くことが出来ます。堤防上の道路にあった自転車を一度整理して頂き、きれいな状態が続いています。

地元の方からは、ここがきれいになって喜ばれています。



きれいになった堤防上の道路

堤防脇に出来た自転車駐車場



### あ と が き

4月1日付けの人事異動の内示が7日にありました。当出張所でも1名が異動となります。

私は、3年目に入ることとなりますが、この2年間進めてきた河川管理の難しさを感じています。

堤防に草花や木を植えてしまったり、側溝の上に物置を置いたり、ベランダ等を国有地(河川区域)にはみ出して造ってしまうなどの方々もあります。(これらの行為は、違法です)

これらの状態を少しでも改善させたいと、酷いところには法的な手続きを含めて検討しています。

3年目には、皆さんが安全に利用できるよう、これまで以上に取組を強め、改善させていきたいと決意しています。

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

## 鶴見川流域センター来館者数3万人を超えました

2月の来館者数は、2,384名となり、今年度の累計は、29,489名になりました。3月に入り、4日の日曜日に3万人の来館者数をカウントしました。平成22年7月に流域センター開所以来10万人の来館者を迎え、今年の3月末に15万人の来館者を迎えることとなりそうです。

東日本大震災後、流域センターには、防災情報を求める市民のみなさんが大勢おとずれるようになりました。震災及び復旧対策に関する資料や、防災グッズの紹介など、いざというときに必要になる情報をスタッフが丁寧に説明してくれることから、小さな子供づれの方も増えています。

また、3月11日には、慶応大学岸教授の生物多様性に関する講座が開催される予定です。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)